

名称	火起こし	雨天	○
活動の概要	マッチやライターなどを使わずに、火を作り出します。	季節	通年
		対象	小学生～
		人数	100名程度
持ち物・費用	火起こし器(100円/台) ※本体、火切り板 もぐさセット(100円/セット) ※もぐさ、トイレtpーパー 【持ち物】軍手	時間	1～2時間
		職員の対応	事前指導・指導

【特長】

- ・火を作り出すことで火の大切さを学ぶことができます。
- ・当センターではマイギリ式による火起こしを行っていますが、他にキリモミ式、ヒモギリ式などもあります。

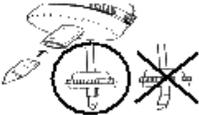
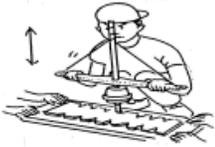
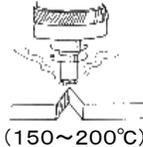
【計画時の留意点】

- ・当日の湿度によっては火が起きにくい場合があります。時間に余裕を持たせてください。
- ・作った火を野外炊事やキャンプファイヤーなどに使うとより効果的です。

【指導上の留意点】

- ・全員で取り組めるように交代しながら行うとよいでしょう。
- ・やけどに注意してください。特に炎が出たときは、周りに注意してください。

【火起こしの手順】

<p>①火切りぎねのソケットにきねの先を真っ直ぐに差し込む。</p>		<p>②火きり板のVカットの上方のくぼみに火きりぎねを当てる。</p>	
<p>③火切り板の両端を他の人に押さえてもらい手持ち棒を上下させ、火きり棒を回す。</p>		<p>④最初は、力を入れずに回す。うっすらと白い煙がたちのぼる。</p>	 <p>(150～200℃)</p>
<p>⑤白い煙が火切りぎねの回転にまわりつくようになる。この辺から押し付けるように強く回す。</p>	 <p>(200～250℃)</p>	<p>⑥Vカットに黒い粉がたまり、中心部に熱が蓄積し、中に火種ができて一筋の煙が立ちのぼる。</p>	 <p>(375～400℃)</p>
<p>⑦軍手をはめ、火種にもぐさを当て、もぐさに火種を移す。</p>		<p>⑧乾いたトイレtpーパーを何重にも巻く。(手に15回程巻く)</p>	
<p>⑨巻いたトイレtpーパーの中に火のついたもぐさを入れる。もぐさを包み込むような感じで。</p>		<p>⑩息をふきかけつづけると煙が出て、やがて炎があがる。(やけどに注意)</p>	